

スーパー加圧浮上装置

コンパクトな固液分離装置

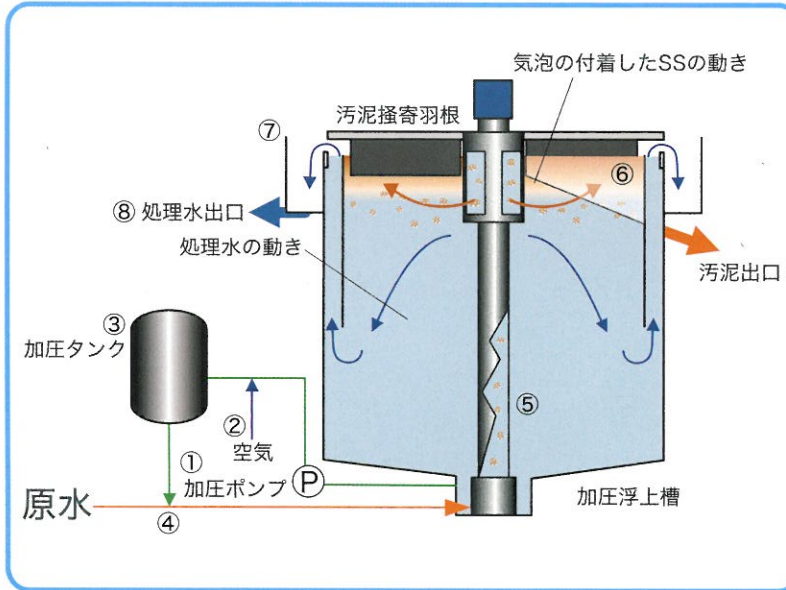


スーパー加圧浮上装置

用途

- SS、油分、COD成分の除去などに有効です。
- 前処理にも仕上げ処理にも適用可能です。

原理

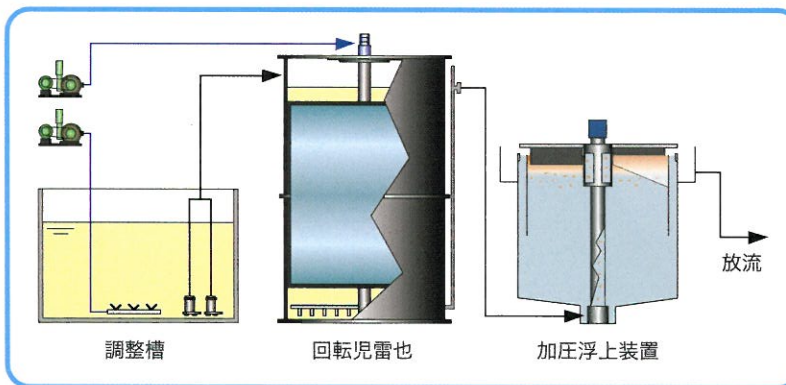


- ①加圧浮上槽下部の水を取り出し、圧力を上げます。
- ②途中で空気を混入します。
- ③空気が溶け込んで圧力の高い「加圧水」を作ります。
- ④加圧水を原水に混入します。
- ⑤圧力が下がった加圧水からは、溶けていた空気が微細気泡となり、原水中のSS分に付着します。
- ⑥気泡の付着したSSは浮上し、掻寄羽根で集められ排出されます。
- ⑦SSが除去された原水は加圧浮上槽周辺部を通り処理水となります。
- ⑧得られる処理水はSS5mg/l程度になります。

特徴

- 沈澱法と比較して20倍以上の固液分離速度が得られるため、装置が非常にコンパクトです。
- 流出SSが極めて少なく良好な処理水が得られます。

回転兎雷也との組み合わせ



- 前段に回転兎雷也、後段に凝集加圧浮上設備を組み合わせると、
- ①装置がコンパクト
 - ②ランニングコストが低い
 - ③運転操作が容易
 - ④原水量・濃度の変動に幅広く対応など非常にメリットの多い排水処理システムが構築できます。

装置仕様及び外径寸法

型式	直径	有効面積	標準処理水量	材質	汚泥掻寄機動力
DAF-15	1.5m	1.8m ²	430m ³ /日	SSまたはSUS	0.2kw
DAF-36	3.6m	10.1m ²	2400m ³ /日		